

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 環境政策課 ☎24-5257

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度(mBq/m ³)	
		3/27～4/3	4/3～4/10
小高区	川房公会堂 (川房)	セウム134	不検出
		セウム137	0.052
	南相馬市就業改善 センター (飯崎)	セウム134	不検出
		セウム137	0.027
	塚原公会堂 (塚原)	セウム134	不検出
		セウム137	0.016
原町区	横川ダム (馬場)	セウム134	不検出
		セウム137	0.037
	原町保健センター (小川町)	セウム134	不検出
		セウム137	不検出
	高平生涯学習センター (下高平)	セウム134	不検出
		セウム137	不検出
	市立総合病院 (高見町)	セウム134	不検出
		セウム137	0.013
	大原公会堂 (大原)	セウム134	不検出
		セウム137	0.015

測定地点		放射能濃度(mBq/m ³)	
		3/27～4/3	4/3～4/10
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セウム134	不検出
		セウム137	0.015
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セウム134	不検出
		セウム137	不検出

※検出限界値はおおむね0.02～0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定毎に変動します。放射能濃度の値が検出限界値未満の場合には、「不検出」とされます。

● 渡邊正己 京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

福島第一原発事故から13年を経た現在も、大気浮遊じん放射能濃度の測定を継続して実施していますが、最近4ヶ月間の放射能濃度の結果は不検出または自然環境存在量と区別ができないほど小さく、健康への影響を心配するレベルではないためご安心ください。